

神露淵に所在する「姫御前」ゆかりの文化遺産 MAP



お問い合わせ先
八女市教育委員会 文化振興課 福岡県八女市本町 647 番地 TEL:0943-23-1982

後征西将軍良成親王の妃「姫御前」物語

ひめごぜん

八女市文化遺産回遊マップ
 南北朝シリーズ①

時は南北朝時代終わり頃の話です。
 南朝方の後征西将軍良成親王は、北朝方である九州探題の今川了俊^{りょうしゆん}の攻撃を受け、八代(現熊本県八代市)の高田御所から逃れ、矢部(現八女市矢部村)の高屋城に移られました。

良成親王の子を宿していた姫御前は、菊池から再会を願い後を追って矢部に向かわれました。矢部川筋は戦場となり危険なため、陣床^{しんどこ}・雄岳^{おだけ}方面から矢部に向かわれました。険しい山道をたどり、雄岳を後にした峠に差し掛かった時、急に産気づかれたそうです。大変な難産で、御子とともに亡くなりました。

息を引き取る際、姫御前は「自分は難産

のため死ぬが、私の魂はこの地に留まって、安産を得させ、母子ともに健やかであるよう守るであろう」と遺言されたそうです。

姫御前が亡くなったと伝えられる峠の麓に位置する集落「神露淵^{しろうづみ}」には、姫御前ゆかりの文化遺産が今に伝えられています。地元の人々は、姫御前をお産の守り神「ひめごじょさん」と呼び、今も大切にお祀りしています。

良成親王に再会することなく、この世を去られた姫御前にまつわる物語を皆さんもぜひとも現地で感じて下さい。

自動車
 ▶八女I.C → 国道442号 / 県道127号 → 神露淵 (約40分)



神露淵集落と「姫御前」の場所



神露渚に所在する「姫御前」ゆかりの文化遺産

神露渚は、田代川の支流神露渚川沿いにある山間の集落です。六左衛門夫婦が姫御前の道案内をしたと伝えられています。

集落には、姫御前ゆかりの文化遺産が点在しています。それぞれの場所は4頁の地図に示しています。併せてご覧ください。

① 姫御前祠

地元では「姫御前」を「ひめごじょさん」と呼んでいます。御本尊は慈母観音に似たお姿です。安産を祈願する人は「御成願（ごせいがん）」、無事に生まれたら「願成就（がんじょうじゅ）」と書いた布を祠に掛けてお参りするそうです。



姫御前（布には願成就とあります）

毎年2月の日曜日に地元の女性が集まり、「ひめごじょさんまつり」が行われます。

午前中から掃除が行われ、お参りの後、集まった皆さんでお神酒と御供米（ごくさん）をいただきます。地元の方に大切にされていることが垣間見えるおまつりです。



ひめごじょさんまつりの様子

② 六左衛門夫婦の墓

神露渚に暮らし、姫御前の道案内をした夫婦の墓です。

姫御前の遺品を埋めて隠した後、姫御前の従者に高い崖から突き落とされて亡くなったそうです。

崖の場所は「六左衛門落し」という地名で語り継がれています。



六左衛門夫婦の墓

③ 姫御前水

姫御前祠の近くに湧く清水です。飲みやすく美味しい水として親しまれています。



姫御前水

④ 次郎渚殿神社

神社の御祭神は姫御前の従者です。姫御前の従者であった井手次郎と太郎祐成が、姫御前を葬った後移り住み、その没後、御祭神として祀られるようになったそうです。

集落の名は「次郎渚」でしたが、天明年間（1781-89）の頃に「神露渚」に変わったと伝えられています。



次郎渚殿神社



御祭神として祀られる次郎渚殿

⑤ 神露渚集落の全景

高台の観音堂から集落の全景を見ることができます。

緑に包まれた谷筋の集落景観は、のどかな暮らしぶりを物語っています。



神露渚集落の全景（観音堂から北を見る）

姫御前岳

姫御前岳は、姫御前が亡くなった後に呼ばれるようになったそうです。別名で姫子岳とも言われます。

登山の方は「グリーンピア八女」の駐車場をご利用ください。また、八女市ホームページには「八女は楽しい『楽しくのぼろう！八女の山』」も掲載しています。ぜひそちらの方もご覧ください。



姫御前岳（八女市室岡 岡山公園頂上から望む）

「劇団大藤」と「姫御前を守る会」

「劇団大藤」は、平成25年に結成された市民劇団です。亡くなった姫御前をしのび、姫御前が好きだった藤を良成親王が黒木に植えた悲しい伝説をミュージカル劇に仕立て上演しています。

「姫御前を守る会」は、地元で姫御前を顕彰することを目的として、平成26年に地元有志13人で設立された市民団体です。姫御前祠の修理や周囲の環境整備等を行っています。



「劇団大藤」の公演